

## おわりに

自己点検評価活動のねらいと意義は、大学の自己啓発力を促すことと述べてきた。これに適した言葉を以下に引用させていただく。

理性はすべて普遍的であり、勇気はすべて個人的である。理性はすべて無記名であり、勇気はすべて人称をもつ。だからこそ、ある意味で苦しみに耐えたり戦ったりするのに勇気が必要なように、時には考えるためにも勇気が必要になる。なぜなら、誰も私たちに代わって考えることはできないし、私たちに代わって堪えしのんだり戦ったりすることはできないからである。

この勇気は明晰さとも呼ばれる。これは真理にかかわる勇気だが、それにとってはどんな真理も十分でない。すべての真理が永遠であるのに対し、勇気は有限性や時間性のなかでしか、つまり持続のなかでしか意味をもたないからである。

アンドレ・コント＝スポンヴィル、「ささやかながら、徳について」  
p86, 2001, 紀伊国屋書店

最後に本事業に懸命に取り組んでいただいた自己点検評価委員及び専門委員並びに各運営委員会構成委員、そして教育研究活動における資料の作成ご協力いただいた教員の皆様、事務局スタッフの皆様に心からお礼申し上げます。  
(自己点検・評価委員長 中島紀恵子)

### 編集責任

自己点検評価委員会

委員長 中島紀恵子 (学長)

委員 深澤佳代子 (学生部長)

関谷 伸一 (図書館長)

吉山 直樹 (看護研究交流センター長)

小竹 豊 (事務局長)

村松 良雄 (事務局次長)

山崎 昭治 (教務課長)

自己点検評価専門委員

北川 公子 (教務委員長)

粟生田友子 (FD委員長)